

盛金富士&熊の山山行報告

【山行日】2024年3月27日(水) 晴れ

【集合】道の駅「しもつけ」P AM 6:30

【費用】マイカー1台 : 1,300円

【メンバー】CL:鈴木、 SL:飯野

飯口、大塚、野口、渡邊

【コースタイム】道の駅「しもつけ」P6:30＝

下小川駅 P8:20/8:40～盛金富士 9:20/9:50～

平山橋 10:20～見晴台 11:00～熊の山 11:25/11:50

～熊の山登山口 12:10/12:50～下小川駅P

13:15/13:30＝道の駅「みわ」13:55/14:10＝

道の駅「しもつけ」15:35



3年前に見たイワウチワの花をもう一度見たいと思い、同じ時季に合わせて計画した。ところが今年
は3月の気温が低く、ネットで見るとまだ花は少ないようである。道の駅「しもつけ」を6:30に出発し



て国道4号線を北上し、新鬼怒川橋を渡ったら直進し県道10号線を進む。国道293号線
に出たら右折し、旧美和町役場の先から県道32号線に入る。タバコ峠から下小川
に向かって久隆川沿いの林道を下って下小川
駅の駐車場に着く。駅の駐車場は広く立派なトイレも併設し、盛金富士と熊の山登山に
とてもありがたい駐車場である。準備を整え
トイレを済ませ、ストレッチを行ったら出発す
る。駅から道路を右に進み、盛金富士の登

山口に向かう。舗装道路を5分ほど歩いて
左折し、直ぐに左折すると立派な鳥居があ
る登山口に出る。ここから山道に入り、自
然林の道を登ると明るく開けた伐採地に着
く。展望抜群の場所で、展望を楽しみなが
ら休憩し衣服調整を行う。この先から階段
状の道を登るようになり、尾根の右側の斜
面にイワウチワの花がちらほらとみられる
ようになる。やはり今年は花がまだ少ない
ようで、斜面の中の道を歩いても群生は見
られなかった。それでも10輪くらい固まっ



て咲いている場所が数か所あり、初めての皆さんは「綺麗！綺麗！」と喜んでいた。花を楽しんだら
山頂に向かい、急登を頑張ると盛金富士山頂に出る。山頂には祠と三等三角点が置かれ、ベンチ
とテーブルがあるので休憩する。リンゴや菓子をいただき、記念写真を撮ったら下山する。

下山は反対側の南に延びる尾根を下ってゆくが、急坂の下りなので慎重に下る。



石碑がある場所から左に鋭角に曲がり、少し先から鉄パイプの手すりが付けられた道を下る。やがて平坦な広い道を歩くようになり、道路に出ると民家の間を下って行く。駅への道路を左折し、直ぐに右に戻るように下ると平山橋に出る。久慈川を平山橋で渡り、国道118号線を横断してそのまま直進する。のどかな山村の風景を楽しみながら坂道を歩き、熊の山登山口の先から雑木林の広い道を登って行く。道端にはシュンランの花が咲き、「ドレドレ、初めて見た」と喜んでスマホで撮っていた。

段々傾斜がきつくなり、展望が良い尾根を登るようになる。見晴台と呼ばれる場所からは、先ほど

登った盛金富士や久慈川が見渡せる。ここからもアップダウンの稜線歩きが続き、大きなピークを2つ越えると北登山口からの分岐に出る。分岐を右に進みその先の分岐を左に登り、鳥居をくぐって石段を登ると熊の山山頂に着く。山頂は広く熊野神社の祠や石灯籠が立ち、信仰の篤さを感じる。展望も雄大で遠くに八溝山、近くは上高塚山や先ほど登った盛金富士が見渡せる。ここでランチをいただく予定だったが、



風が強く時間も予定より早いので下山して食べることにする。下山は往路を戻り分岐を直進して北登山口に向かう。沢沿いの薄暗い道を下って行き、ハナネコノメソウを探しながら歩くが、見つけることが出来なかった。墓地の脇を下って平坦な道に出て、前回利用した公民館の庭に行くが桜はまだ咲いていなかった。道路の反対側の植林



された草むらで食べることにして、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作る。お惣菜がお皿に盛られて、ピクニック気分でした。

ランチが済むと近所の人を通りかかり、徳ちゃんが「この植林された木は何の木ですか？」と聞くと、なんとウルシの木だった。ここから国道118号線の下を通り、下小川橋を渡って道なりに進み下小川駅駐車場に着く。靴を履き替え、トイレを済ませたら帰路につく。往路を戻り、途中の道の駅「みわ」に寄ってお買い物。

ここからも往路を戻り、新鬼怒川橋の手前に新しくできた宇都宮高根沢バイパスを走って行く。

清原工業団地の中はまだ工事中だが、全線開通すればかなり時間短縮できそうだ。北関東道の真岡ICの先で国道294号線に出て、予定よりかなり早く道の駅「しもつけ」に到着した。